

諏訪小だより

令和6年9月30日
10月
多摩市立諏訪小学校
校長 齋藤 幸之介

学校行事を通して期待される子供たちの姿

校長 齋藤幸之介

先週よりグラウンドでの朝会や体育朝会ができるようになりました。前期終業式、後期始業式も子供たちが一堂に会して挙行することができました。

改めまして、後期もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度は、9・10月と立て続けに学校閉鎖を行わなければならない事態になりました。今年度は、皆様のお力添えをもって今日まで教育活動を行っております。今後も日々子供たちが通学できるように御理解と御協力を賜りたく存じます。

年内にはいくつかの全校で行う学校行事があります。今月が運動会、11月に開校30周年記念式典、そして12月には学習発表会が予定されています。ともすると慌ただしくなる日々をどのように充実させていくかが私共の大きな責務、と自覚しております。

教育活動における学校行事の位置付け

すでに御存じのことと思いますが、学校行事は、学習指導要領には「特別活動」という領域の中の一つです。周年記念式典は「厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機づけとなる」儀式的行事に、運動会は「運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにする」体育的行事に、学習発表会は「平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにする」文化的行事に、それぞれ位置付けられています。これらの特色を味わいながら、これも行事のねらいにある「協力」「よりよい人間関係の形成」「多様な他者への尊重」を目指します。

例えば「挑戦」にある「厳しさ」

以上概略を述べてまいりました。学校行事には様々な場面や活動があります。例えば、時に友達とは異なる役割を得る場合があります。逆に、みんなでそろえることも求められます。そこには子供たちが厳しいと感じる「挑戦」もあります。本番に至る過程で苦勞する場合があります。決してよいことばかりではない、いや、よいこと

に巡り会えることはそんなにはない、と言われることもあります。そんな中、子供たちはどう過ごし、また大人はどのように関わったらよいのでしょうか。

多面的な評価

－「厳しさを乗り越えるための一助として－

「誇り」や「自尊心」とも訳される「プライド」は「自分が優れていると感じること」、つまり自信をもっていること、ともされます。プライドをもっている子は「次もきつとうまくいくはず」という「期待」をもって何事にも積極的にチャレンジする傾向があるとも言われます。

しかし、一方で、この「期待」が外れることがあります。すると、今までプライドをもっていた子が、全てを否定するようになることもあります。大きく自信を失ったのでしょうか。

ここに至るには、例えば、「二者択一的な思考」がある、とされます。「よい－悪い」「失敗－成功」のどちらか一方に解答を求める、ということです。確かに、例えば試験で失敗した、という答えは一つなのかもしれません。

これを解消する方法の一つに「多面的で柔軟な評価」が必要とも言われます。例えば、見取る大人が、自分が慣れ親しんだ基準だけで子供たちを評価するのではなく、基準は判断を確認することが重要ということでもあります。多様な価値基準から判断されて働きかけられることは、子供たちも様々な価値観がある、と気付くことにもつながります。(参考:「子どものプライドを育てる」小塩真司 2007年 「児童心理」金子書房)

本番を迎えるまでに、子供たちは仲間と共に前進していくことでしょう。めげそうになるときは、この過程において私共ができる限りの手立てを講じて認め、励ましていきます。そして、子供たちが相互に関わりながら、相手の痛みをも感じ、慈しむ姿に期待していきたいと思います。

どうぞ皆様にもお力添えを賜りたく深くお願ひ申し上げます。

10月行事予定

1	火	生活朝会 身体計測(6) ALT
2	水	身体計測(5) ALT
3	木	身体計測(4) 委員会活動 みらい塾 プラス(～16:30)
4	金	身体計測(3) プラス(～16:15)
5	土	プラス講習会 (8:30～12:00)
6	日	
7	月	安全指導 身体計測(2) 教育実習(始) プラス(～16:20)
8	火	全校朝会 身体計測(1) ALT
9	水	避難訓練 ALT プラス(7:30～)
10	木	運動会全校練習 運動会係打合せ(5.6) みらい塾 プラス(7:30～)
11	金	運動会全校練習
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	全校朝会 運動会全校練習 運動会係打合せ(5.6) ALT
16	水	4時間授業 ALT
17	木	プラス(～16:00)
18	金	4時間授業(1～4) 前日準備(5.6) プラス(7:30～)
19	土	運動会 プラス(7:30登校)
20	日	
21	月	振替休業日
22	火	全校朝会 ALT プラス(～16:30)
23	水	小中連携の日(諏訪中) 読み聞かせ(低) ALT
24	木	教師道場授業 みらい塾 プラス(～16:30)
25	金	社会科見学(3)
26	土	
27	日	
28	月	つばさ授業公開
29	火	3時間授業 全校朝会 就学時健康診断 ALT
30	水	つばさ授業公開 読み聞かせ(高) おはなし会 ALT プラス(7:50～) 星を見る会(18:00～)
31	木	ジャイアンツアカデミー(4) つばさ授業公開 みらい塾 教育実習(終) プラス(～16:30)

「わたしの夏のチャレンジ展覧会」

9月4日(水)～10日(火)まで、「わたしの夏のチャレンジ展覧会」を開催しました。全校児童が参加する本展覧会には、児童が主体的に取り組んだ立体作品やレポートなどが勢ぞろいしました。子供たちも作品を鑑賞し合うことで、来年度のチャレンジのイメージを膨らませていました。

保護者の皆様には夏休み中の児童の取組を見守りながら支えていただき感謝いたします。また、御多用の中、御高覧ください、誠にありがとうございました。

文化的行事委員会 齊藤 翔太

「たてわり班活動」

たてわり班活動は、1年生から6年生までの異年齢集団での活動を通して多くの友達と仲良くなるとともに、高学年にはリーダーとしての力を身に付けさせることをねらいとしています。諏訪小学校では年に5回のミニたてわり班活動と年に3回のロングたてわり班活動の時間があります。毎回、縦割りリーダーを中心に6年生が活動内容を考えて下級生のお世話をしてくれるので、活動日には笑顔と歓声にあふれています。回を重ねるごとに、関わり方に工夫が見られるようになりました。全校児童がさらに仲良くなり、上級生が下級生の憧れになることを目指していきます。

たてわり班活動担当 杉原 さくら

「諏訪小学校のESD」

「Education for Sustainable Development」 ～持続可能な開発のための教育～

持続可能な社会をつくる担い手を育てるために、本校では、学校や地域の自然・人・社会に関わる学習活動を繰り返し行うことを通して「地域で学び、自分たちにできることを考えて行動していく子供の育成」を目指しています。1・2年生の生活科、3～6年生の総合的な学習の時間を中心に、SDGs「住み続けられるまちづくりを」という視点をテーマに活動しています。今自分たちにできることは何かを考え、主体的に行動しながら諏訪の町を愛していこうという気持ちをもてるよう、多様な活動を行っています。様々な教科での学習活動と関連付けながら自ら考えて実践することで、達成感を得られる活動を目指しています。

ESD担当 齊藤 亜希